

研究課題名	クローン病発症のリスク因子・予防因子の検討
研究の意義・目的	近年、食習慣の欧米化・生活環境の変化などがさまざまな病気と関連していることが指摘されています。本研究では「疫学」という手法を用いて、多くの人のデータを統計解析し、「健康と生活習慣との関連」を調べます。クローン病に罹る人を一人でも少なくするための、貴重な資料として活用し、予防に役立てたいと思っています。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日 ~ 2027年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	<p>厚生労働省の研究班が2014年7月30日から2017年3月31日に実施した「健康と生活習慣に関する疫学調査」(倫理審査委員会承認番号2144、以下「先行調査」といいます)に参加された方が対象になります。下記のいずれかの研究機関で文書による参加同意をいただいた後、生活習慣と生活環境についてのアンケート、食事栄養についてのアンケート、診療情報、をご提供いただいています。</p> <p>【青森】弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学、</p> <p>【東京】聖路加国際病院消化器内科、東京大学医科学研究所附属病院外科、順天堂大学医学部小児科学、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科消化器内科、慶応義塾大学医学部消化器内科、北里大学医学部消化器内科、</p> <p>【神奈川】横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患(IBD)センター、海老名総合病院内視鏡センター(消化器内科)</p> <p>【千葉】東邦大学医療センター佐倉病院内科学、</p> <p>【群馬】群馬大学大学院医学系研究科小児科学、</p> <p>【埼玉】防衛医科大学校消化器病内科学、</p> <p>【静岡】浜松南病院消化器病・IBDセンター、</p> <p>【愛知】名古屋市立大学大学院消化器・代謝内科学、愛知医科大学医学部消化器内科、</p> <p>【石川】金沢大学附属病院消化器内科</p> <p>【三重】四日市羽津医療センター大腸肛門病センター、</p> <p>【滋賀】滋賀医科大学医学部消化器内科、</p> <p>【大阪】大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学、社会医療法人若弘会若草第一病院消化器内科、泉大津市立病院消化器内科、石井記念愛染園付属愛染橋病院内科、大阪市立総合医療センター消化器内科、</p> <p>【京都】京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学、</p> <p>【兵庫】神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野、</p> <p>【島根】島根大学医学部内科学第二、</p> <p>【広島】広島大学病院消化器・代謝内科、</p> <p>【福岡】福岡大学筑紫病院消化器科、</p>
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先行調査に参加された際、ご提供いただいた生活習慣と生活環境についてのアンケート、食事栄養についてのアンケート、診療情報、の内容を本研究で使用させていただきます。</li> <li>● 先行調査にご参加いただいた方に、お電話などで直接問い合わせることは一切ありません。当時のアンケートにご回答いただいた内容と診療情報は、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学で保管していますので、これらの情報を使用した分析を行います。</li> </ul>

試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学のみで行い、他の機関に情報の提供はいたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学 医学部附属病院事務局 技術職員 近藤 亨子 (勤務場所：大学院医学研究科公衆衛生学)
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学 医学部附属病院事務局 技術職員 近藤 亨子 (勤務場所：大学院医学研究科公衆衛生学) 電話：06-6645-3756 (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)